

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2011年1月1日 ～ 2021年12月31日の間に、ラトケ嚢胞のために虎の門病院間脳下垂体外科に入院・通院し、経鼻的手術を受けられた方

【研究課題名】

ラトケ嚢胞に対する嚢胞 - くも膜下腔開窓術の効果に関する検討

【研究の目的・背景】

《目的》

本研究においては、一般的なラトケ嚢胞の術式である単純嚢胞開窓術に、嚢胞 - くも膜下腔開窓術を追加することで、術後再貯留予防効果に差があるかどうかを明らかにすることを目的とします。

《研究に至る背景》

ラトケ嚢胞は胎生期の遺残組織から発生する嚢胞性病変です。視神経や下垂体などが近くに存在するため、視力視野障害や内分泌機能障害を呈することがあります。症状がある場合、一般的には経鼻手術による単純嚢胞開窓術が行われますが、10-20%の人は術後に嚢胞内容液の再貯留をきたし、場合によっては再手術を要します。

【研究期間】

2023年12月25日 ～ 2024年7月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

該当なし

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、CT/MRI 画像データ、薬歴、看護記録

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：間脳下垂体外科 西岡宏

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年5月31日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 福原紀章

電話 03-3588-1111(代表)